

広告の透明性やクオリティ改善への
さまざまな取り組みを進めています。



新聞購読 お申し込み
+500円で、デジタルも

デジタル版 お申し込み
PC、スマホで

愛読者セット

デジタル毎日

毎日新聞

写真 動画 有料会員向け

検索

毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー ログイン

トップ 社会 政治 経済 国際 サイエンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー

総合 連載小説 連載漫画 芸能 将棋 囲碁 クラシックナビ MORE

加藤浩子の「街歩き、オペラ歩き」

他の連載記事はこちら

18世紀の劇場で体験する至福のオペラ～ドロットニングホルム 宮廷劇場

2016年9月5日

クラシックナビ



ドロットニングホルム宮廷劇場正面

[PR]

先月は、夏の盛りにふさわしい古代劇場での野外オペラをご紹介したが、今回は、その対極ともいえる、けれどこちらも夏にふさわしい劇場をご紹介しよう。

<街歩き、オペラ歩き> 野外オペラの醍醐味 ヴェローナ音楽祭

広告の透明性や
クオリティ改善への
さまざまな取り組みを進めています。

YAHOO!
JAPAN

毎日新聞のアカウント

RSS

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

注目ニュースの進展を時系列で

築地市場移転 どうなる？

チャンネルページはこちら

ピックアップ

PR 締切迫る！第7回「共に生きる社会」めざして
国際医療福祉大学 高校生作文コンテスト

PR 第2回学生住宅デザインコンテスト!!

話題の記事

<街歩き、オペラ歩き>「ヴェルディの劇場」 ミラノ・スカラ座

<音楽の窓から世の中を眺めて> 負の歴史を見つめ伝えること

<音楽徒然草> 秋が待ち遠しい シュターツカペレ・ドレスデン「ラインの黄金」

<イタリア・オペラの楽しみ> いろんな「エディション」があるオペラの楽しみ方

Email Automatisés Mailjet

Il est essentiel de contacter vos clients au bon moment.

スウェーデンの首都ストックホルムの郊外にある、ドロットニングホルム宮廷劇場である。

前々から一度訪れてみたい劇場だったのだが、この8月、念願かなって初めての訪問となり、すっかり虜（とりこ）になってしまった。

ドロットニングホルム宮廷劇場は、オペラファンの間でもそれほどには知られていないかもしれない。けれど、先月紹介したヴェローナ音楽祭が、ローマ帝国時代の闘技場を舞台にしているなら、こちらは18世紀に建てられた宮廷劇場がそのまま使われているという、これまた極めて珍しい例なのだ。



ストックホルム市庁舎

人口およそ75万人のストックホルムは、水と緑に囲まれた、「ガーデンシティ」と呼びたくなる街。街はいくつもの島の上に築かれ、一方はバルト海に、もう一方はメーラレン湖という細長い湖に面している。ノーベル賞の晩さん会が開かれることで有名な市庁舎は、20世紀に入ってから建築だが、ヴェネツィアのドゥカーレ宮殿をモデルにしているそうで、たしかに外観のデザインも、海に面した環境も、ドゥカーレ宮殿に似通ったところがある。

建材がレンガで（北ヨーロッパでは建材になる石が少ないので、レンガ造りの建物が多い）、周囲に緑が多いのが、ヴェネツィアとの違いだろうか。

グルメ

ワインは「難しい飲み物」じゃない! ベストセラー著者が提案する「ワインと料理のマイルール」

2016国際学校図書館協会 東京大会 読む喜び、広がる

アンコール

質実剛健ヤノフスキの「神々の黄昏」 バイロイト音楽祭2016リポート(下)

日伊国交150周年記念コンサート 本場オペラ曲熱唱 北九州芸術劇場 /福岡

熊本地震

「日奈久断層、警戒必要」 八代で今後分析の講演会 /熊本

powered by CXENSE

アクセスランキング

1時間 1日 1週間 SNS 動画

毎時01分更新

安保法成立1年 廃止するまで諦めない…国会前で抗議集会

豊洲市場 空洞、昨年まで知らず…担当の元副知事証言

貧困高校生 ネットメディア誤報 「影響力」自覚を

DeNA ラミレス監督続投要請へ

ホリプロTSC 栃木県出身の12歳・柳田咲良さんがグランプリ 最年少で初の21世紀生まれ



detachable soles



SHOP NOW

MAHABIS.COM

のマークについて

今週のおすすめ

筆者が訪れた日は運良く好天に恵まれたが、ストックホルムでは、さわやかな晴天の日は1年にわずか30日ほどだという。そんな夏の1日にふさわしいのが、ドロットニングホルム宮廷劇場のオペラだ。

劇場は、世界遺産にも指定されているドロットニングホルム宮殿の敷地内にある。宮殿は17世紀に、スウェーデン王家の夏の離宮として造られたもので、スウェーデン・バロックの典型とされ、山吹色の宮殿内には豪華な部屋が連なり、背後には幾何学式の、いわゆる「フランス式」庭園が広がる。しばしば「北欧のヴェルサイユ」と呼ばれるのも納得がいく。

PR 人気エリアの物件満載 住まいを探すなら 毎日新聞×SUUMO	
PR 終活・シニアライフ特集 介護・住まい、葬儀、相続、認知症など 完全網羅してわかり易く解説！	
PR 10月11日（火）開催 未来の東京を考える 都市セキュリティ セミナー	
PR 予選通過者発表！ 第16回インターネットによる高校生小 論文コンテスト	
PR バイクで日本を元気に！ レイザーラモンRGさんが語る、バイク への思い	

東京2020オフィシャル新聞パートナー 毎日新聞社は、東京2020大会を応援しています。		

とはいえ、この宮殿の素晴らしさは、何と言ってもメーラレン湖に面して建ち、豊かな緑に抱かれているその環境にある。スウェーデンの国王一家は、1982年、環境がいいという理由で、市内にある立派な王宮からドロットニングホルム宮殿の一角に引っ越した。宮殿は市内から車で20分ほどだが、気さくな国王は、自分で車を運転して市内に通っているそうだ。



ドロットニングホルム宮殿へ向かう船

車で行くのも悪くないが、お天気のいい日なら船でのアプローチが最高だ。筆者は運良く、鑑賞当日にすがすがしい晴天に恵まれた。ストックホルムの港から、「ドロットニングホルム号」と名付けられた乗合船に乗り、内陸へ向かって切り込むように広がるメーラレン湖の美しい水の上を進む。岸辺に市街地が望めるのはほんのわずかの間で、あとはどこまで行っても深い緑。その合間に点在する瀟洒（しょうしゃ）な、といっても北欧らしいモダンな建物や、時々現れる小さな浜辺がアクセントだ。さわやかな風と、北欧の太陽の柔らかな光、透き通った空気を満喫しながらの1時間弱の航行の後に、水辺にたたずむ宮殿が目飛び込んできた時は感動的だった。

水辺にたたずむドロットニングホルム宮殿

宮殿の建物とちょっと離れて建つ宮廷劇場は、外観はごく簡素。けれど劇場自体は思いの外広く、淡いベージュや緑に塗られた空間が、いまだに蠟燭（ろうそく）の光で輝くシャンデリアに照らされて、セピア色という形容がふさわしい風情を醸し出す。

ドロットニングホルム宮廷劇場の客席

長方形の劇場にはベンチ型の座席がしつらえられ、450人ほどを収容するが、場内にはちゃんと階段があり、後方へいくほど高くなるので（実はイタリアの伝統的な劇場だと、平土間にはほとんど高低がなかったりする）、舞台がととも見やすい。建物は木造で、そのためとても「温かな音響」（当日の公演

を指揮したフランス人指揮者マルク・ミンコフスキの言葉)が体験できる。

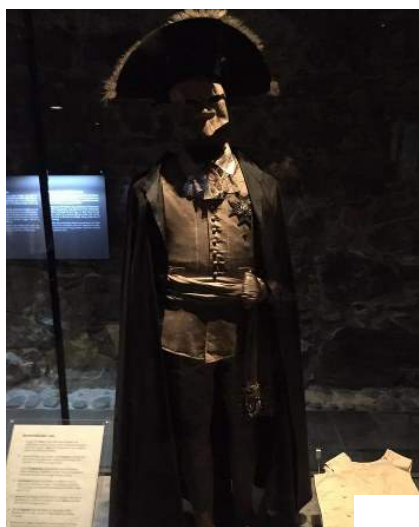


ドロットニングホルム宮廷劇場の舞台裏

舞台裏に回れば、創設当時の機械仕掛け～手作業で海の波や嵐を起こす機械～が転がっているのが目に飛び込んでくる。このような遺構が残る劇場は、ヨーロッパでもここと、イタリアのヴィチエンツァという町にあるオリンピコ劇場くらいしかない。世界遺産に指定されるのも、もともと。重要文化財のなかで観劇しているようなものである。

ホワイエにあたる部分はいくつもの小部屋に分かれ、当時の衣装などが展示されていた。

この劇場が建てられたのは1766年。建てさせたのは当時のスウェーデン王妃、ロビーサ・ウルリカである。ロビーサは演劇をはじめ文化一般を愛好したが、彼女の息子が、「文人王」としてスウェーデンの歴史に名前を残しているスウェーデン王、グスタフ3世である。グスタフは、こことは別に、ストックホルムの市内に王立のオペラハウスを造らせたが、何とその王立オペラハウスで開催された仮面舞踏会の席で暗殺された。ヴェルディの「仮面舞踏会」は、この事件を扱ったオペラだ。王宮の一角にある博物館には、その舞踏会でグスタフがつけていた衣装や仮面、暗殺者の仮面、そして実際に暗殺に使われたピストルなどが展示されている。茶色に変色した血のりの痕も生々しく、歴史がリアルになる瞬間が味わえる。



仮面舞踏会当日にグスタフ3世がつけていた仮面と衣装



ドン・ジョヴァンニのポスター

さて、今回、ドロットニングホルム宮廷劇場で観劇したオペラは、モーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」。ふだんは、空間にふさわしいバロック時代のオペラが上演されることが多いのだが、今年、劇場が創設250周年を迎える記念に、昨年から3年がかりで、モーツァルトの三つの傑作オペラ、「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」が、マルク・ミンコフスキの指揮で上演されている。ミンコフスキは音楽ファンの間でも高く評価されている指揮者で、19歳の時に、当時の楽器を復元したいわゆるピリオド楽器のオーケストラ、「ルーブル宮音楽隊」を母国フランスで創設。以来、ピリオド楽器、モダン楽器を問わず、オペラ、オーケストラの指揮者として活躍している。

このモーツァルト・オペラのシリーズは毎年8月で、公演はそれぞれ数回しかない。ドロットニングホルム宮廷劇場の貴重な空間で、ポピュラーな演目が、現在注目されている指揮者で聴ける、貴重なチャンスである。

ドロットニングホルム宮廷劇場のステージ



ドン・ジョヴァンニのカーテンコール

期待通り、素晴らしい公演だった。ミンコフスキの指揮は推進力にあふれ、躍動的でいて、各パートの音がクリアに、そしてソフトに際立ち、舞台上の登場人物のように生き生きと迫ってくる。イヴァン・アレクサンドルによる演出は、舞台上に設けられたもうひとつの舞台がほぼ唯一の大道具で、舞台前の空間では、歌手たちが楽屋で出演の準備をしている設定。劇中劇のような趣向だ。ミンコフスキ、そしてアレクサンドルと何度も共演し、「オペラ上演に理想的な、ひとつのチーム」（ミンコフスキ）のように上演に臨んでいるという歌手たちは、若手が中心ながら、それぞれ役柄の特徴を心得た演唱。なかでも天下のプレーボーイであるドン・ジョヴァン

ニ役を歌ったフランスのバリトン、ジャン・フランソワ・ボーの歌、演技にあふれる色気と、ジョヴァンニの従者レポレツォを歌ったカナダのバス・バリトン、ロベール・グリドーの柔軟闊達（かつたつ）な演唱には魅了された。

いつか日本でこのプロダクションを上演したいと語っていたミンコフスキ。その時には、ドロットニングホルムとはいかないまでも、それに準じる親密な空間で体験したいものである。

筆者プロフィール

加藤 浩子（かとう・ひろこ） 音楽物書き。慶応義塾大学、同大学院修了（音楽学専攻）。大学院在学中、オーストリア政府給費留学生としてインスブルック大学留学。バッハとイタリア・オペラをテーマに、執筆、講演、オペラ&音楽ツアーの企画同行など多彩に活動。著書に「今夜はオペラ!」「ようこそオペラ!」「オペラ 愛の名曲20+4選」「名曲を生みだした女性たち クラシック 愛の名曲20選」「モーツァルト 愛の名曲20選」（春秋社）、



「バッハへの旅」「黄金の翼=ジュゼッペ・ヴェルディ」（東京書籍）、「人生の午後に生きがいを奏でる家」「さわりで覚えるオペラの名曲20選」「さわりで覚えるバッハの名曲25選」（中経出版）、「ヴェルディ」（平凡社新書）他共著多数。最新刊は「オペラでわかるヨーロッパ史」（平凡社新書）。

公式HP <http://www.casa-hiroko.com/>

ブログ「加藤浩子の美しき人生 la bella vita」

<http://plaza.rakuten.co.jp/casahiroko/>

ケーテンのバッハ音楽祭で2014年、ミンコフスキと

デジタル毎日 いますぐ読み放題

3,200円が 初月無料

THE WALL STREET JOURNAL.

デジタル毎日なら、「ウォール・ストリート・ジャーナル」も読める!

加藤浩子の「街歩き、オペラ歩き」

前の記事

[野外オペラの醍醐味 ヴェローナ音楽祭](#)

S L 銀河
青森-弘前駅間で運行 鉄道ファン見送る

ボイメン小林豊
フラワーアレンジメント修業中! 水野勝はシュートボクシングで10キロ増

マンション・住宅最前線
「名前なし郵便受け」が増えても誤配が増えない理由

三田寛子
梨園の妻の貫禄 橋之助不倫騒動“名口上”で幕引き

学生音コン
ピアノ小学校の部、15人が本選へ 東京大会

豊洲市場
09~10年の担当職員聴取 都、経緯調査

長男殺害
寝たきりの72歳女性を書類送検 大阪府警

日ハム・レアド選手
小学生に英語授業 泣き出す児童も

Recommended by



J'EN PROFITE >

広告の透明性や
クオリティ改善への
さまざまな取り組みを進めています。

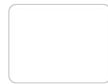
YAHOO!
JAPAN

広告

Oreille Absolie

Développez oreille absolue. C'est possible et faisable!

○ ○



ニュース総合

総合 速報 紙面掲載記事 デジタルプラス デジタル毎日スペシャル
サンデー毎日

有料会員限定（愛読者プレミアム/デジタル毎日）

経済プレミアム 医療プレミアム トクトクプレミアム

社会	政治	経済	国際	サイエンス	スポーツ	毎日新聞のアカウント
事件・事故・裁判	政治一般	企業・産業	アジア・オセアニア	医療	野球	毎日新聞のアプリ <hr/> 紙面ビューアー iOS Android ニュースアプリ iOS Android
気象・地震	選挙	経済政策・財政	北米	科学・技術	高校野球	
話題	国会議員名鑑	マーケット	欧州	環境	社会人野球	
皇室			中東		サッカー	
訃報			中南米		ラグビー	
人事			アフリカ		五輪	
					相撲	
					テニス	
					ゴルフ	
					競馬	
					その他	

索引・検索

サイト内検索
記事データベース

媒体別リンク

The Mainichi
ユニバーサロン
毎日まんがニュース
毎日プレミアムモール（通販）

オピニオン

社説
余録
解説
コラム
毎日ジャーナリズム
スペシャルレポート
ひと
世論調査

カルチャー

連載小説
連載漫画
芸能
将棋
囲碁
芸術・文化
クラシックナビ
映画
音楽
本・書評
万能川柳
歌壇・俳壇
書道
乗り物
サブカル

ライフ

おんなのしんぶん
ライフスタイル
食
ファッション
就職・転職
住宅
旅行

教育

受験
毎日小学生新聞
15歳のニュース
@大学
vote18
毎日ウィークリー
ニュースがわかる
キャンパス

地域

大盛り北海道
いりやあせ名古屋
めっちゃ関西
オッショイ！九州
首都圏版

写真・動画

MAINICHI
PHOTOGRAPHY
毎日動画



会社案内
お知らせ
採用情報
主催イベント
毎日新聞の取り組み

個人向け

サービス総合案内
デジタル毎日申し込み
愛読者セット申し込み
新聞購読申し込み
デジタル刊行物のご案内
読者投稿

法人・教育機関向け

広告掲載
ニュース配信サービス
毎日フォトバンク
毎索

関連サイト

スポニチアネックス
メモリーズ新聞
名人戦棋譜速報
毎日が囲碁道場
MANTANWEB
毎日キレイ
まいにちコレアル
Run Pit
日本報道写真連盟

サイトポリシー 利用規約 著作権 個人情報 特定商取引法に基づく表示 ご意見・お問い合わせ（FAQなど） リリース スタッフレポート

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。
Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.